据付説明書

HITACHI
Inspire the Next

日立電気洗濯乾燥機

イラストは代表機種

もくじ

据え付けをされる方へ	●据え付け前には、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく据え付けてください。 ●製品の機能が十分発揮されるように、この「据付説明書」の内容に従って、正しく据え付けてください。 ●据え付け終了後は、「洗濯乾燥機設置時のチェックシート(据付確認書)」に従って確認を行ってください。 ●この「据付説明書」は、お客様にお渡しください。
お客様へ	●排水管の洗浄や転居の際に、洗濯乾燥機を移動する場合がありますので、この「据付説明書」は、「取扱説明書」とともに大切に保存してください。

安全上のご注意

据え付ける前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しく据え付けてください。

■ここに示した注記事項は

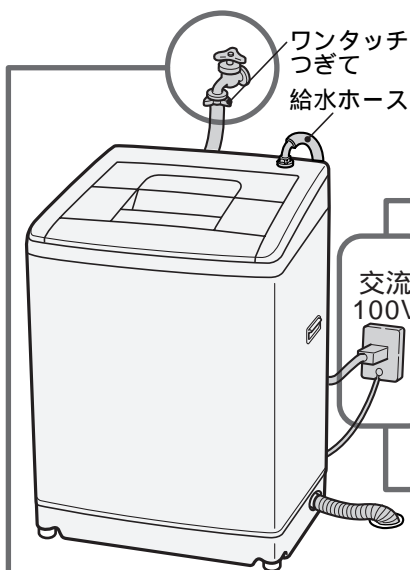
表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負うことが想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例

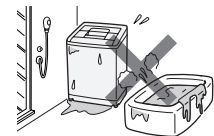
⚠	「警告や注意を促す」内容のものです。
	してはいけない「禁止」内容のものです。
	実行していただく「指示」内容のものです。

⚠警告

●火災・感電を防ぐために

据え付け場所は

●浴室など湿気の多い場所や風雨にさらされる場所には据え付けない

電源プラグや電源コードは

電源

●定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使う

●電源プラグは、刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合はよくふく

●傷んだ電源コードや電源プラグ、ゆるんだコンセントは使用しない

●電源コードを傷つけない

（傷つけ・加工・無理な曲げ・引っ張り・ねじり・重いものを載せる・はさみ込むなどしない）

アース線は

●アース線は取り付ける

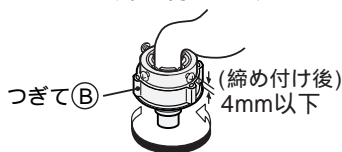
- アース線を取り付けないと漏電のとき感電することがあります。アースの取り付けは、電気工事店または販売店にご相談ください。

⚠注意

●水漏れを防ぐために

給水ホースや排水ホースは

●ワンタッチつぎてを使用し、つぎてⒷをしっかり締め付ける

- 付属品以外のつぎてを使用すると水漏れの原因になります。
- 長期のご使用でねじやつぎてが緩んだりすると水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。定期的に点検し、緩んでいる場合にはさらに締め付けてください。

●洗濯乾燥機を据え付けるときは、排水ホースのくびれた部分を本体の端に合わせる

- 内部でたるんでいると、ほかの部品と接触し、ホースが破れて、水漏れするなど思わぬ被害を招くことがあります。

●据え付け後や断水後の配管内の空気での水はねに注意

●給水ホースの本体接続のユニオンナットはしっかり締め付ける

- 長期のご使用でユニオンナットが緩んだりすると水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。定期的に点検し、緩んでいる場合にはさらに締め付けてください。

●洗濯・乾燥前は水道栓を開いて、水漏れがないか確認する

●性能を十分発揮するために

給湯機は

禁止

●給湯機からの温水は使用しない

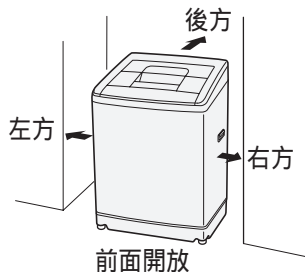
据え付け場所は

禁止

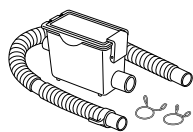
●キャスターの付いている台や、不安定な場所には据え付けない

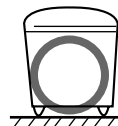
据え付け場所の確認

据え付けできる場所

●**必要寸法が確保できる場所**
振動や音を防ぐために、下表の寸法以上離して据え付けてください。

消防法 基準適合 組込形

場所	離隔距離(cm)
上方	50
左方	1.5※
右方	1.5※
後方	1.5
下方	0

※排水ホース側は9cm以上
（直下排水L形パイプを使用したときは、13cm以上）

※糸くずボックス(WLB-1)を使用するときは、排水ホース側を15cm以上あけてください。(P4)

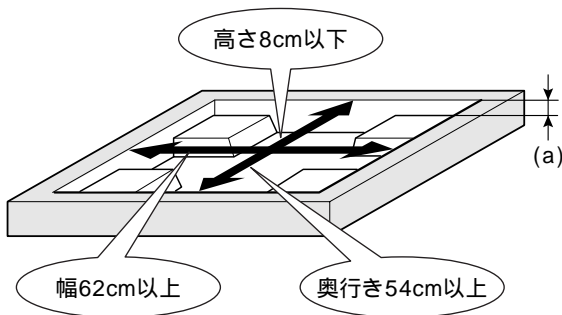
■**しっかりした床に、水平に据え付けてください。**
- すべりやすい床や、弱い床は、振動や騒音が大きくなることがあります。

しっかりした水平な床

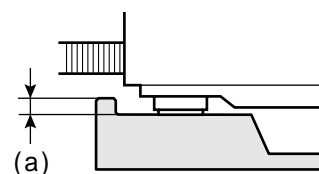
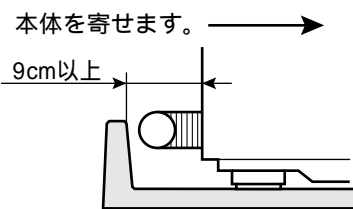
弱い床

凸凹床

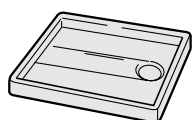
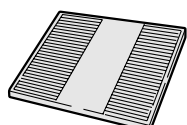
●**次のような場所には据え付けないでください。**
- **直射日光が当る場所**
- **40℃以上になる場所**
- **発熱器具のそば**
- **凍結の恐れのある場所**
- **有機溶剤(ベンジン、シンナーなど)を扱う場所**

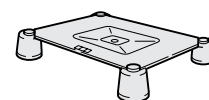
据え付けできる防水パン

●**内側寸法が幅62cm以上、奥行き54cm以上、高さ8cm以下の防水パン(BL規格防水パン)に設置できます。**

●**排水ホース出口位置が防水パンの高さより高い場合は、本体を寄せて排水ホース側のスペースを9cm以上確保してください。**

●**四隅が高くなっている防水パンは、排水ホース出口位置が高くなります。(a)寸法が19mm以下の防水パンに設置できます。**

※洗濯機の下に排水口がある場合は、P6に従い据え付けてください。
※排水口が本体の下になり、お手入れができない場合は、別売りの「糸くずボックス」WLB-1の取り付けをおすすめします。

防水パンや洗濯機用トレーの設置

●**本体からの水漏れや夏季など湿度が高いときに、冷水などの使用で洗濯槽の外側が結露し、床面をぬらすことがあります。**
●**床汚損防止のためにも、防水パンや洗濯機用トレーの設置をおすすめします。**
●**防水パン使用時は、防水パンの排水にご注意ください。防水パンの排水口が詰まると、水がたまってあふれたり、感電する恐れがあります。**

防水パン (TP-780)

洗濯機用トレー (YT-1)

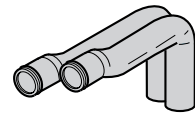
●**本体を高くする場合や、防水パンに入らない場合は、別売りの「全自洗専用設置台」をご使用ください。**

全自洗専用設置台 (UP-D2)

●**キャスター付の設置台や側面が開口した設置台は、排水ホースが外れたり、けがをする恐れがあります。**

排水口の確認

排水口が本体の直下になる

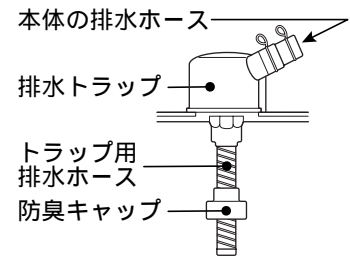
●**別売りの「直下排水L形パイプHO-P5」をご使用ください。**☞ 6

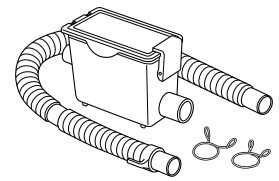
据え付けにあたっては、「HO-P5」に同梱の取扱説明書に従ってください。

直下排水L形パイプHO-P5

排水口からのにおいを防ぐ

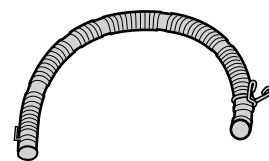
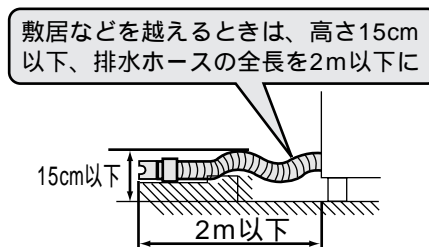
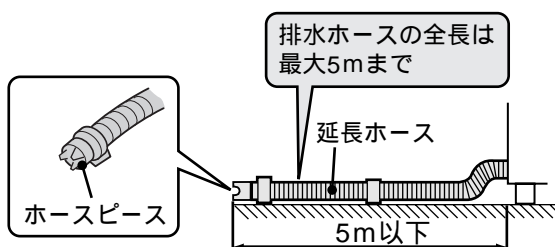
●**乾燥時、排水口からのにおいを吸い込み、衣類にしみつく場合があります。排水口からのにおいの吸い込みを防ぐために、別売りの「洗濯機用排水トラップ」YT-T1希望小売価格4,200円(税込)をご使用ください。**

●**排水トラップの取り付けには、住宅工事の工務店などの工事が必要です。工務店にご相談のうえ、お買い求めください。**

- 据え付けにあたっては、「YT-T1」に同梱の取扱説明書に従ってください。
- 据え付けにあたっては、設置条件をご確認ください、(本体横に13cmの設置スペースが必要です)

排水口への糸くずを防ぐ

●**別売りの「糸くずボックスWLB-1」をご使用ください。**
希望小売価格 3,570円 (税抜3,400円)
●**排水口のお手入れ、清掃が困難な設置条件の場合におすすめします。**
●**排水ホースに取り付け、洗濯・乾燥中の糸くずなどを集め取り除きます。**
●**排水トラップをご使用の場合は、あわせてご使用することをおすすめします。**
排水トラップの詰まりを防止することができます。

糸くずボックスWLB-1

排水ホースを延長する

●**別売りの「延長用排水ホースKW-50K1-023」をご使用ください。**
希望小売価格 840円(税抜800円)
排水性能が悪くならないよう、次の点をお守りください。

延長用排水ホースKW-50K1-023

- 市販品の延長ホースをご使用になる場合、ホースの内径が小さいと排水性能が悪くなり、正常な運転ができなくなる場合があります。
- 延長ホースを接続する際は、排水ホース先端に付いているホースピースを先に外してから、延長ホースを接続後、延長ホースの先端にホースピースを押し込んでください。

排水ホースのセット

排水ホースの引き出し

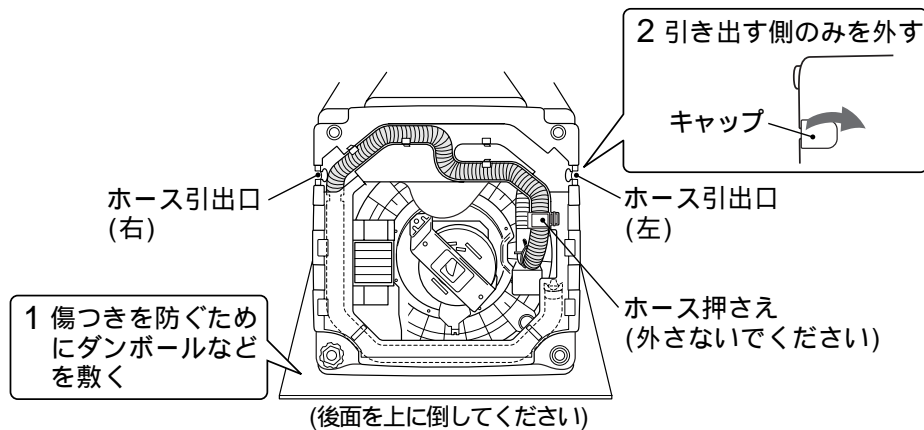
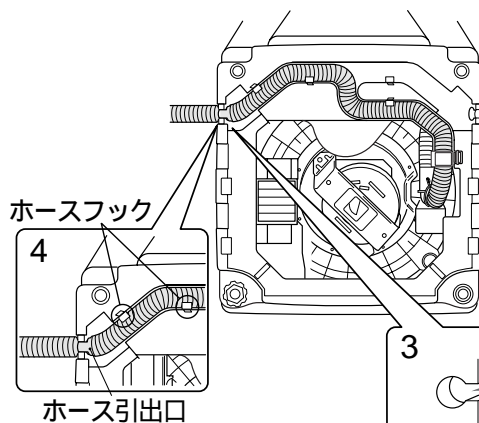
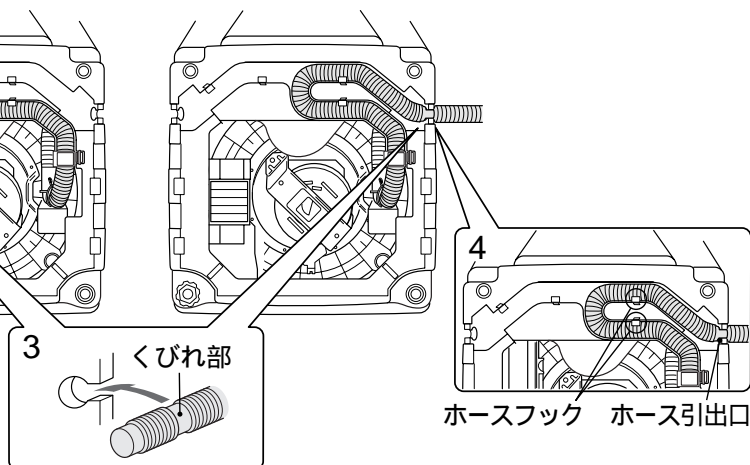
⚠注意

据え付けるときは、排水ホースのくびれた部分をホース引出口に合わせる
●内部でたるんでいると、他の部品と接触し、ホースが破れて、水漏れするなど思わぬ被害を招くことがあります。

排水ホースの先端はしっかりと排水口へ入れる
●排水ホースが外れると、水漏れなどの思わぬ被害を招くことがあります。

●ホース押さえは外さないでください。
●内部のホースは溝にきちんとはめ込み、浮き上がりのないようにしてください。

●排水ホースは、本体内部に収納されています。排水口の位置に合わせて取り出します。

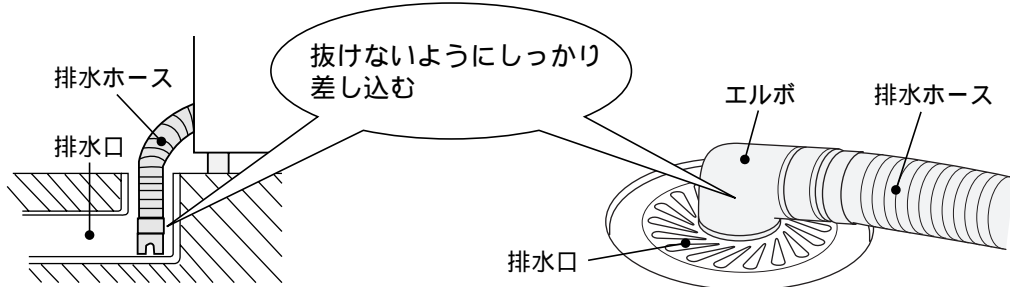
1 **本体を静かに前側へ倒す(傷つきを防ぐために、ダンボールなどを敷く)**
2 **排水ホースを出す側のキャップを取り外す(取り外したキャップは不要です)**
3 **排水ホースを図のように引き出し、くびれ部をホース引出口に差し込む**
4 **本体内部の排水ホースを、ねじれないように注意して溝にはめ込む**
5 **本体を起こす**

右側排水口の場合　　**左側排水口の場合**

直下排水口の場合

排水口に近いほうから排水ホースを引き出します。 ☞ 6

排水ホースのセット（続き）

排水ホースの排水口への設置

左側または右側排水口の場合

●本体を据え付け場所に置き、排水ホースを排水口に差し込みます。

ご注意

排水口が浅く、排水ホースの先端がぶつかるときは、排水ホースのくびれた部分を切断し、排水ホースの先端に付いているホースピースを付け替えてください。
●切断しなかったり、ホースピースを付けないと、排水が悪くなる場合があります。

直下排水口の場合

●「直下排水L形パイプHO-P5」をご使用ください。詳しくは、「HO-P5」に同梱の取扱説明書に従ってください。

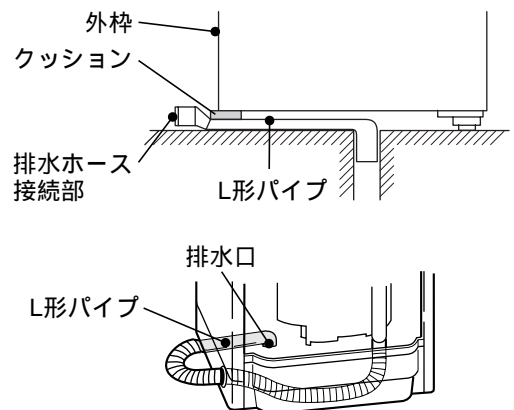
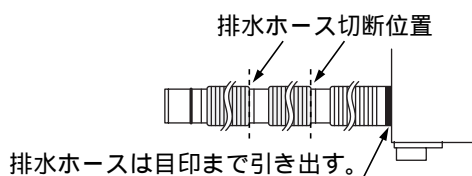
1 排水口にL形パイプを挿入する

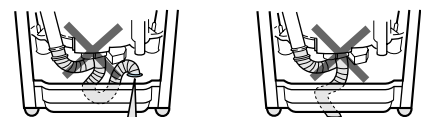
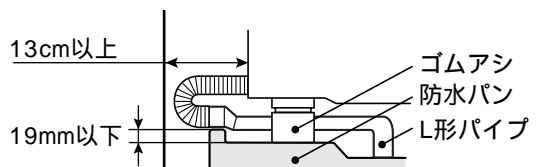
●L形パイプは長・短2本を同梱しています。排水口の位置が本体外枠の外側より約15cm以内にある場合は短いL形パイプを、そのほかの場合は長いL形パイプをご使用ください。

2 本体を据え付ける

●L形パイプと排水ホースの接続部は、本体の外側に出るようにしてください。
●L形パイプが本体に直接当たらないように、クッションを貼り付けてください。

3 排水ホースとL形パイプを接続する

●L形パイプの位置に合わせて、排水ホースを切断してください。
●L形パイプの排水ホース接続部に接着剤を塗布し接続してください。
ホースがねじれないように接続してください。

ご注意

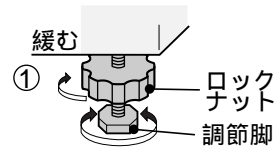
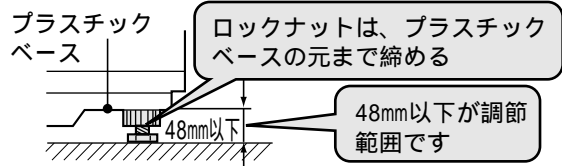
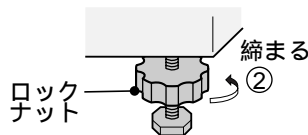
●防水パンの外周が高く取り付けられない場合は、HO-P5に同梱のゴムアシを設置してください。
●排水ホースが壁と当たらないように13cm以上離して設置してください。

⚠注 意

右図のような排水ホースの取り出しはしない
●水漏れや異音の原因になります。

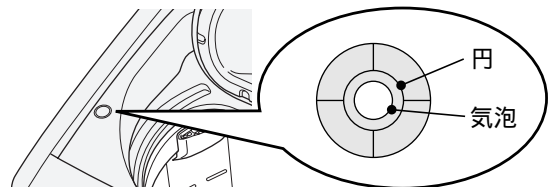
本体の水平確認

本体のがたつきを取り、水平にする

1 本体ががたつかないよう、調節脚の高さを調節する

1 **ロックナットを矢印方向①に回して緩め、調節脚を回してがたつかない高さに調節する。(14mmまで高さ調節できます)**

2 **調節が終わったら、ロックナットを矢印方向②に回して固定する。**

2 本体を水平にする

1 **ふたを開け、水準器を真上から見て、気泡の位置を確認する。**
気泡が円の中に入っていれば水平です。

※水準器は真上から見てください。

2 **水準器の気泡が円の中に入っていないときは、付属の脚キャップを固定脚に取り付け、円の中に入れる。**

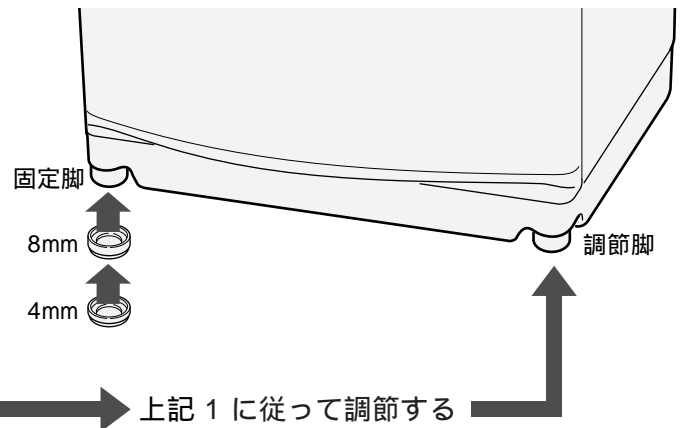
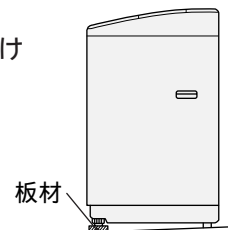
- **詳しくは「洗濯乾燥機設置時のチェックシート」の裏面を参照してください。**

<例>

気泡が円の上方に半分出ている

本体が前に傾いている

前側の固定脚に8mmと4mmの脚キャップを重ねて取り付ける

調節脚を回してがたつかないように高さを調節する

- **気泡が円から半分以上出ている場合は、床の傾斜が大きいため脚キャップだけでは調節できません。適当な板材などを敷いてください。**

付属脚キャップ

4mm、8mmの2種類が、それぞれ2個ずつ同梱されています。
必要に応じて組み合わせて使用してください。組み合わせて使用するときは、高さの低いほうを下にしてください。

4mmが2個　　8mmが2個

アース線の接続と電源の確認

アース線の接続

⚠ 警告

アース接続

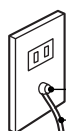
アース線は取り付ける
●アース線を取り付けないと漏電のとき感電することがあります。
アースの取り付けは、電気工事店または販売店にご相談ください。

(電気工事士の有資格者がD種(第3種)接地工事をするよう、法令で定められています。)

●アース線は確実に取り付けてください。

- 万一の漏電時の感電事故を防ぐためです。また、漏電遮断器の取り付けもお勧めします。
- アース線を取り付けるときは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で接続してください。
- 設置場所の変更や転居の際には、アースの取り付けを行ってください。

アース端子がある場合

アース線をアース端子に確実に接続してください。

アース端子がない場合

アース工事をしてください。

⚠ 注意

禁止

次のようなところには、アース線を取り付けない(法令などで禁止)
●ガス管、電話線、避雷針、水栓
水道管は途中から塩ビ管になっているところが多いため避けてください。

電源(コンセント)について

⚠ 警告

電源

定格15A以上、交流100Vのコンセントを単独で使う
●ほかの器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

注意

傷んだ電源コードや電源プラグ、緩んだコンセントは使用しない
●感電・ショート・発火の原因になります。

注意

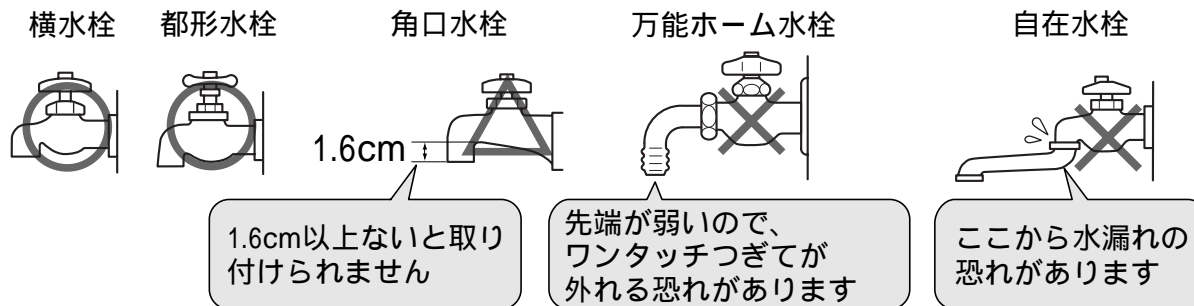
テーブルタップによるタコ足配線はしない
●火災・発火の原因になります。

注意

延長コードは使用しない
●過熱の恐れがあります。

給水ホースの接続

水栓の確認

●ワンタッチつぎてを使用する場合の水栓について
横水栓、都形水栓が最も適しています。

●万能ホーム水栓や自在水栓などの場合は、オートストッパー付水栓ジョイント用部品を取り付けます。

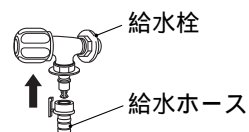
オートストッパー付水栓ジョイント用部品

給水ホースが外れると、自動的に給水をストップし、水漏れを防止します。

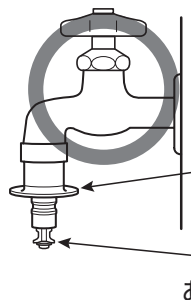
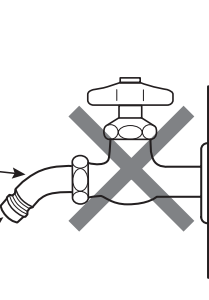
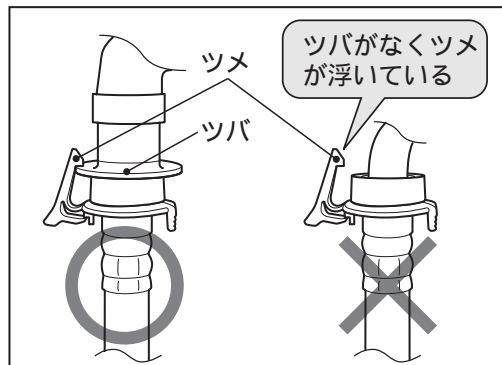
■全自動洗濯機用給水栓ノズル（オートストッパー付）

自在水栓の場合	万能ホーム水栓・全自動洗濯機用水栓の場合	カップリング付横水栓の場合
YSP-1A-S	YSP-L-S	YSP-1B-S
ノズル 給水ホース ツバ ノズル	万能ホーム水栓 全自動洗濯機用水栓 ノズル 給水ホース ツバ ノズル	ノズル 給水ホース ツバ ノズル

■全自動洗濯機用給水栓
（オートストッパー付）

YS80S

● 自在水栓、混合水栓などの場合は、販売店または水道工事店にご相談ください。
● 洗濯注湯システムには給水ホースを接続しないでください。
(50°C以上のお湯は故障の原因となります)

●全自動洗濯機用水栓について

全自動洗濯機用水栓(給水ホースを直接水栓に差し込める水栓)にも適合しない物があります。ご使用になる場合は、日本電機工業会規格JEM1206に準拠した水栓をご使用ください。ご使用の水栓が準拠しているかは、水栓メーカーにお問い合わせください。ただし、ツバのないものはご使用いただけません。また、先端部にさびや傷があると、水漏れしますのでご使用できません。

※オートストッパー付きは、給水ホースが抜けると自動的に給水が止まります。

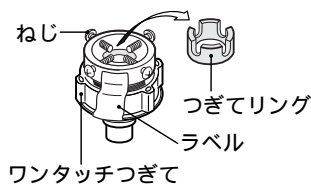
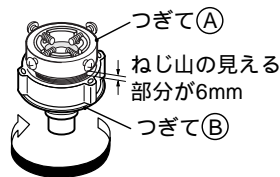
給水ホースの接続（続き）

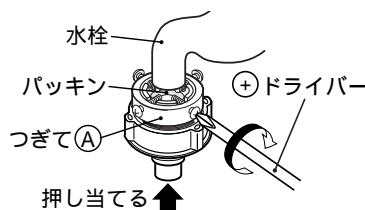
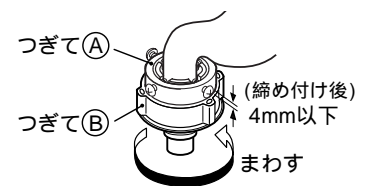
ワンタッチつぎての取り付け

⚠注意

ワンタッチつぎてを使用し、つぎてⒷをしっかり締め付ける。
●付属品以外のつぎてを使用すると水漏れの原因になります。
●長期のご使用でねじやつぎてが緩んだりすると水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。
定期的に点検し、緩んでいる場合は取り付け直してください。

水栓およびワンタッチつぎては、本体に触れないようにする。
●振動により水漏れの原因になります。

1 水栓の直径を確認する。
●直径が18mm以上のときは、つぎてリングを外します。

2 つぎてⒶ、Ⓑとのすき間(6mm)を確認する。
●つぎてⒷを矢印方向に回し、すき間を調節します。

3 つぎてⒶのねじ4本を水栓の幅まで緩め、水栓先端に押し当てる。

4 壁側になるねじを先に手で締め、水栓がパッキンの中心になるように、ねじを均等にしっかり締め付ける。

5 つぎてⒷを矢印方向に回し、つぎてⒶとⒷのすき間を4mm以下にする。

●給水ホースおよびワンタッチつぎては、付属品を使用してください。
●長期間のご使用で、ねじやつぎてⒶ、Ⓑが緩んだりすると、水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。
2～**5**の手順により取り付け直してください。付け直しても水漏れするような場合は、ワンタッチつぎてと給水ホースを取り換えてください。(転居のときなど、ワンタッチつぎてを取り付け直すときにも同じ作業を行ってください)

ユニオンナットの取り付け(取り外し)

●取り付けかた
ユニオンナットを矢印方向に回して、給水口にしっかり締め付けます。

⚠注意

給水ホースの本体接続のユニオンナットはしっかり締め付ける。
●水漏れの原因になります。
●長期のご使用でユニオンナットが緩んだりすると水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。
定期的に点検し、緩んでいる場合にはさらに締め付けてください。

ユニオンナットとホースを一緒に矢印方向に回して、給水口にしっかり締め付けます。

●ユニオンナットの締め付けが十分でないと、水漏れします。

●取り外しかた

1 水栓を閉める。

2 「槽洗浄」コースを選び、スタートボタンを押して約10秒間運転する。
●外すときの水の飛び散りを防ぐためです。

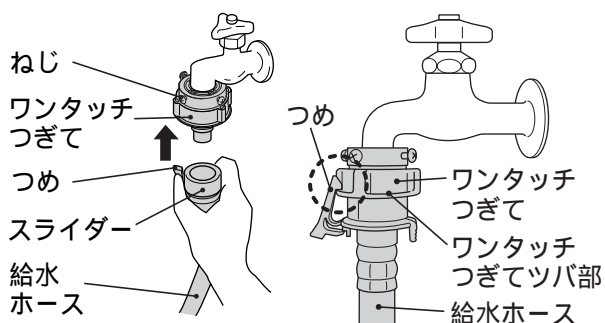
3 ユニオンナットを矢印方向に回して外します。

給水ホースのワンタッチつぎてへの取り付け(取り外し)

取り付けかた

1 スライダーを押し下げながら、ワンタッチつぎてに差し込む。

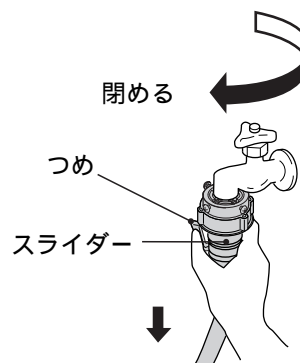
2 スライダーを離して、「パチン」と音がするまで給水ホースを押し上げる。

- 給水ホースのつめが、ワンタッチつぎてのツバ部に確実に掛かっていることを確認してください。
- 給水ホースをひっぱり、抜けないことを確認してください。

取り外しかた

1 水栓を閉める。

2 「槽洗浄」コースを選び、スタートボタンを押して約10秒間運転する。

- 外すときの水の飛び散りを防ぐためです。

3 つめを外し、スライダーを押し下げながら、給水ホースを外す。

給水ホースの延長・短縮

●延長は別売りの延長ホースをご使用ください。

長さ	部品番号
1m	KW-S451-618
2m	KW-S451-619
3m	KW-S451-620

延長作業(有料)は、販売店にご依頼ください。

●短縮は別売りの短い給水ホース(50cm)をご使用ください。

●部品番号　NW-6SD-031

水漏れなどの確認

●取り付け後は試運転を行い、水栓、ワンタッチつぎて、ユニオンナットから水漏れしないことを確認してください。

●水栓が給水ホースに触れないようにご注意ください。

お湯取ホースのセット

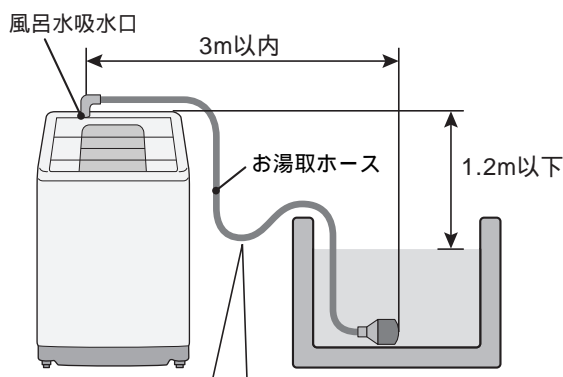
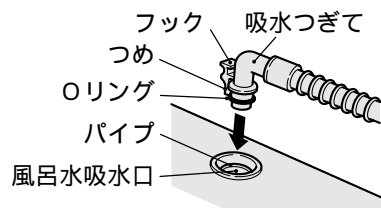
お湯取ホースの取り付けと長さ調節

●ご使用になる前にお湯取ホースにAg除菌お湯取ユニットまたはクリーンフィルター(以下Ag除菌お湯取ユニットで説明します)を取り付けてください。
●付属のお湯取ホースは約4mです。洗濯乾燥機と浴槽の距離に合わせて切断してご使用ください。吸水中は水の重さによりホースが垂れ下がりますので、長めに切断するようにしてください。(効率よく風呂水を吸水するためです)

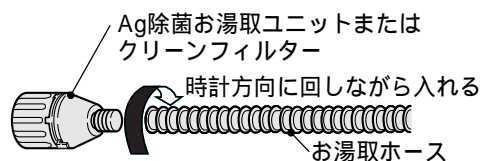
お湯取ホースの長さ調節

1 風呂水吸水口キャップを外す。

2 お湯取ホースの吸水つぎてを、風呂水吸水口に取り付ける。
- 吸水つぎてのつめをパイプに引っ掛け、抜けないことを確認してください。
- 入りにくい場合は、Oリングに少し水をつけ、回しながら押してください。
Oリングを外したり傷つけないでください。
外すと空気が入り込み、吸水できなくなります。

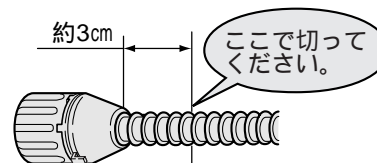
3 ホースの先端を浴槽にセットし、ホースの長さを調節する。
- 浴槽と洗濯乾燥機の距離に合わせて、ホースの先端側をはさみやカッターで切断します。

吸水中は、水の重さによりホースが垂れ下がり、Ag除菌お湯取ユニットが浮き上がる場合がありますので、垂れ下がりを考慮してホースの長さを決めてください。

※付属のお湯取ホースの長さが足りないときは、別売りの7mホースをご利用ください。
(部品番号NW-7P5-045
希望小売価格1,890円(税込))

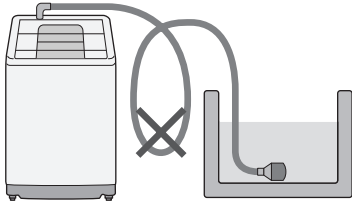
4 Ag除菌お湯取ユニットをお湯取ホースに取り付ける。
- ホースを時計方向に回しながら入れます。
ホースの内側に水をつけると入れやすくなります。

(クリーンフィルターのときは先端の形状が短いですが、取り付け、取り外しかたは同じです)

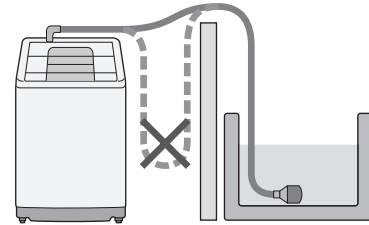
●Ag除菌お湯取ユニットの取り外しかた
Ag除菌お湯取ユニットは一度取り付けると手で簡単に外せません。ホースの長さの再調節のためにAg除菌お湯取ユニットを取り外すときは、次に従ってください。

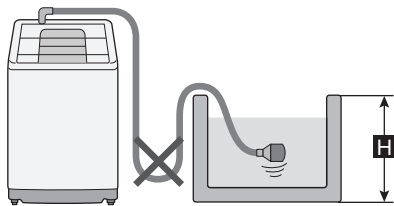
1 ホースを切断する。
- Ag除菌お湯取ユニットの根元から約3cmの所でホースを切断します。

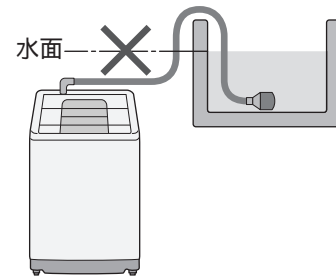
2 Ag除菌お湯取ユニットに付いているホースを取り除く。
- ホースの先端に約1cmの切れ目を入れ、時計方向に切りさきながらホースを取り除きます。

セット時のお願い

余分なホースを巻いたまま使用しない

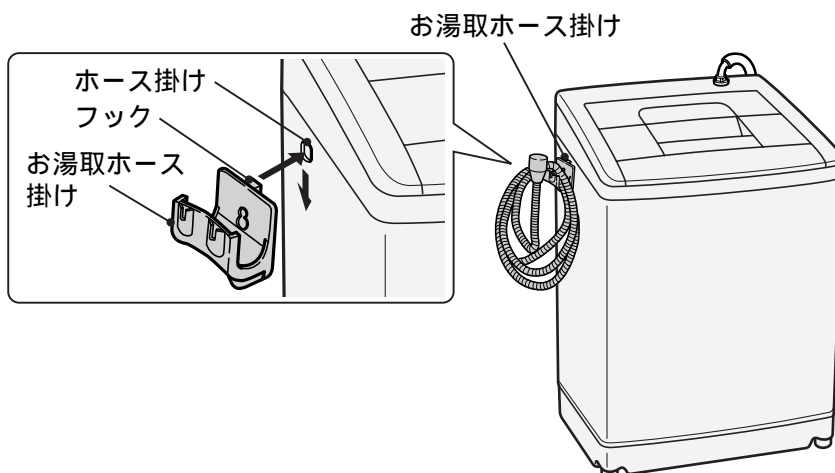
●ホースの抵抗が増え、風呂水吸水できない場合があります。

高い壁を越えるときは、ホースのたるみをなくす

●ホースにたるみがあると、ホースの抵抗が増え、風呂水吸水できない場合があります。

Ag除菌お湯取ユニットの浮き上がりに注意する

●浴槽の高さ(H)が床面から80cm以上の場合は、垂れ下がったホースでAg除菌お湯取ユニットが浮き上がりやすくなります。おもりなどで浮き上がらないようにしてください。

浴槽の水面より風呂水吸水口が低くなる場所では使用しない

●サイホン現象により、ポンプの運転が終わっても水が止まらず、水漏れの原因になります。

お湯取ホース掛けの使いかた

●お湯取ホース掛けのセットのしかた

●お湯取ホース掛けのフックをホース掛けの穴に入れて止まるまで押し下げてください。

試運転

●据え付けが終了したら試運転を行い、異常音や水漏れなどを確認してください。

1 **電源を入れ、 洗濯 ボタンを押し、「標準」コースを選ぶ。**

2 **洗い「3分」、脱水「1分」を選び、 スタート/一時停止 これっきりボタン ボタンを押す。**

ご注意 お湯取設定が解除されていることを確認してください。
(工場出荷時は設定されていません)

3 **約30秒後に水量が表示されたら、約90秒後に水栓をゆっくりと開き、動作を確認する。**

⚠注意

据付け後や断水後は、水栓をゆっくり開く

●給水ホース、水道配管に空気がたまり、圧縮された空気圧により、本体が破損し、水漏れやけがをする恐れがあります。

動作確認の内容

1 **給水ホースや接続部に水漏れがないか確認する。**

2 **洗濯・脱水槽に水がたまり、洗濯動作を開始したら、異常音や本体底部からの水漏れがないか確認する。**

3 **排水ホースや接続部に水漏れがないか確認する。**

4 **水道水で運転したあと、お湯取運転を行い、風呂水が吸水されるか確認する。**

⚠注意

洗濯前に、水栓を開いて水漏れがないか確認する。

●ねじが緩んだりしていると、水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。